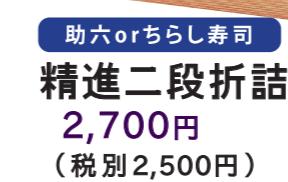
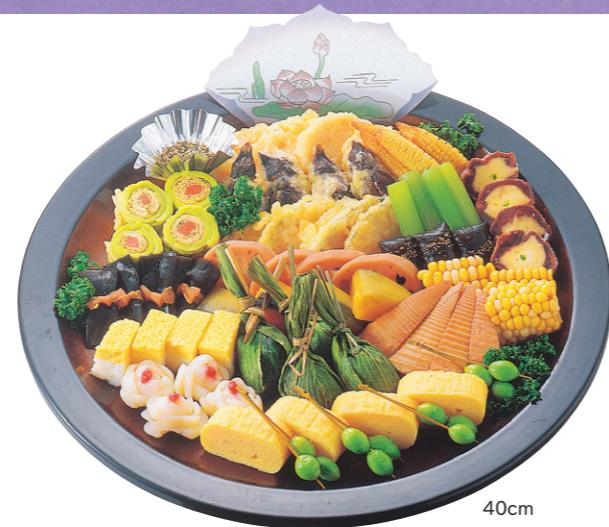


# 精進料理

法事後のお食事をお寺や  
ご自宅まで配達致します。

大切な方を偲び  
お集まり頂いた  
方へのおもてなし



※御斎の刺身こんにゃくを  
お刺身に540円UPで変更出来ます。



**吸 物** 216円 (税別200円)  
**茶碗蒸し** 432円 (税別400円)

お持ち帰りパック(ビニール袋付)1個33円

お持ち帰り用紙袋 1枚55円

※使い捨て容器  
でも  
お作り出来ます。

## 初盆

### 〈初盆(新盆)提灯とお供え物〉

故人が亡くなった後最初に迎える「初盆」の供養は一重に行います。まず、仏壇の前に精進棚を設置し、初物の農作物で作ったお供え物を飾ります。供養膳には精進料理を盛り、さらに白団子、果物、故人の好物なども供えます。このお供えは墓前にも供えますので、同様に用意しましょう。お盆の間は仏壇のそばや軒先に初盆提灯を飾り、精靈に自分の家を教えます。お盆の最後の日(7月15日、旧暦では8月15日)には送り火を焚き、靈を送り出せば、初盆の行事は終了です。

お盆を迎える場合は、初盆は翌年になります。

### 〈法要に持参するもの〉

靈前に供える生花やお菓子、果物などを持参します。自宅ではなく寺や料亭など別の場所で法要を行う場合や、お供え物が重なりそうな場合は、現金を持参する方が無難でしょう。表書きは品物の場合は「御供」、粗供養に折詰や酒の小瓶などを添えてお渡ししましょう。

僧侶へのお礼は「お布施」としてお渡しします。

### 〈法要に持参するもの〉

死亡した翌年の同月同日(祥月命日)に一周忌、その翌年、満2年目に三回忌を行います。(二回忌という年忌はありません)そのあとは随時、七回忌、十三回忌、十七回忌、二十三回忌、三十三回忌、五十回忌、百回忌となり、それ以後は五十年ごとに法要を行います。当日は法要の後、寺の一室を借りたり、料亭や自宅に招きし接待するのが一般的。その時粗供養の品として、お菓子、緑茶、海苔などを来客にお渡しします。宴席を省略するときは、粗供養に折詰や酒の小瓶などを添えてお渡ししましょう。

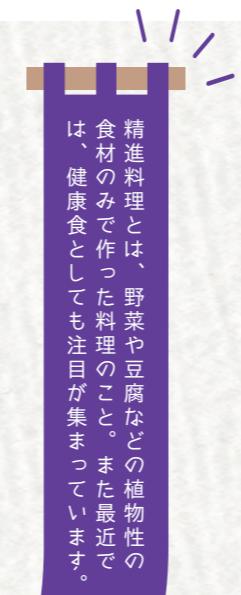
### 〈法要に持参するもの〉

葬儀がいっさい済んだ夜、お世話になった方々に感謝するため開く宴です。「初七日」近親者、知人を招いて仏の供養をします。

### 〈四十九日〉

### 〈年忌法要〉

精進料理とは、野菜や豆腐などの植物性の食材のみで作った料理のこと。また最近では、健康食としても注目が集まっています。



お持ち帰りパック(ビニール袋付)1個33円

お持ち帰り用紙袋 1枚55円